

# 遠州森の祭り活写 植松さん最優秀賞

## 全日写連大撮影会

全日本写真連盟本部の秋季大撮影会(全日写連盟本部、朝日新聞静岡総局主催)の選考会が昨年12月にあり、入賞・入選の計45作品が決まった。今回のテーマは「遠州森の祭り」の様子を撮影した。88人が応募し、計709作品の中から、写真家の土



最優秀賞「お稚児さん」植松きくゑ

田ヒロミさんが審査した。表彰式は3月12日、朝日新聞静岡総局(静岡市葵区)である。入賞・入選作は8月8、13日に静岡市清水文化会館マリナート(同市清水区)で開かれる「第62回県写真展」と併せて披露される。

### 入賞・入選の皆さん

(敬称略。氏名は朝日新聞の表記に基づいています)  
【最優秀賞】「お稚児さん」

植松きくゑ(御殿場市)

【朝日新聞社賞】「舞児還し」渡辺定幸(富士市)

【全日写連賞】「お面と対話」渡辺修一郎(函南町)

【特選】「獅子舞」太田賢一(静岡市)▽「またかなあ」南波進(沼津市)▽「オカッパ」福島耕司(静岡市)

【準特選】「舞児」中田美智雄(掛川市)▽「御渡り」青木照実(沼津市)▽「少年」竹久忠吾(静岡市)▽「祭の役員」鈴木文雄(富士市)▽「気合い

を入れて」遠津輝男(静岡市)

【入選】「出番まえ」勝又悦朗(御殿場市)▽「出番です」堀野良一(浜松市)▽「祭りの巨」狹田長蔵(富士市)▽「子供達の活躍」加藤利光(函南町)▽「晴れ姿」松永愛子(静岡市)▽「入口」伊藤大(島田市)▽「先頭を行く」梅原邦隆(函南町)▽「街角」赤堀末夫(富士市)▽「仲好し」市毛磨須美(沼津市)▽「怖いよ」佐々木勇(静岡市)▽「お稚児さん」吉川正宏(静岡市)▽

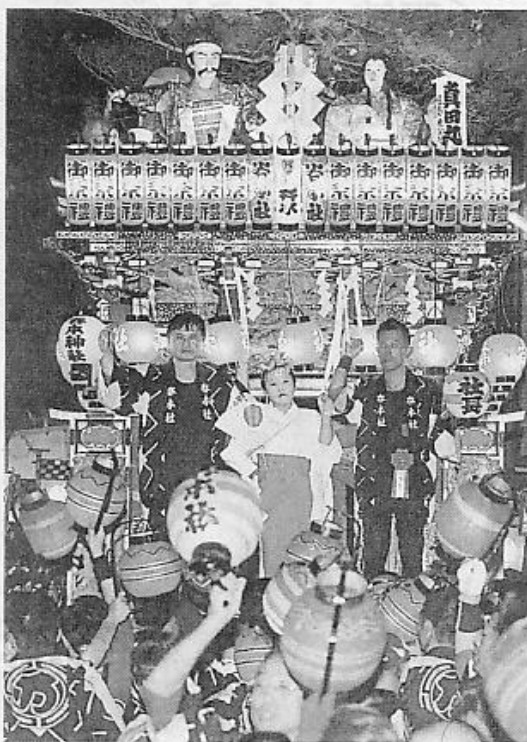
「待ち時間」桑原稔(静岡市)

▽「新顔」鎌田昭寿(藤枝市)

▽「練りとおかめひよとこ」平野旭(浜松市)▽「勢揃い」斎藤伸也(富士市)▽「祭りのひととき」斎藤勝彦(富士市)

▽「思い出のスナップ」樋田進(函南町)▽「見返り美人」平口進(藤枝市)▽「青春」北原博(浜松市)▽「巫女さん」尾藤功次(浜松市)▽「一休さん」神尾一(沼津市)▽「弾ける」植田稔(静岡市)▽「みこちゃん」鎌野夏江(御殿場市)

▽「まつりに酔う」阪口誠紀(静岡市)▽「欲音」河原崎久和(静岡市)▽「自慢気な父」小林一久(富士宮市)▽「落し物」佐野登(富士市)▽「千客万来」村松伸治(静岡市)▽「思わず笑顔に」辻村友博(浜松市)▽「氏子達による祭りの儀式」岸功(浜松市)▽「二きおばあちゃんも」緒に「青木康(伊豆の国市)▽「エプアップ」馬淵好彦(静岡市)▽「出番」曾根弘(静岡市)▽「遠来からの客人」高根美奈夫(清水町)



朝日新聞社賞「舞児還し」渡辺定幸

### 入賞作品の講評

「お稚児さん」木陰がつくったスポットの光が、行列の主役たちを

次々に浮かび上がらせた。そんなアンダーな露出が効果的だ。「舞児還し」足元に乱舞する提灯が盛り上がる「動」と、静かな稚児とが対比的であるのがよい。

全日本写真連盟賞「お面と対話」渡辺修一郎



「お面と対話」左下からヒョットコの面が動画のカット割りのように移動していく4カットは、スナップショットの醍醐味だ。(写真家 土田ヒロミ)